

共につくる未来の仙台



未来の仙台市をつくるための総合計画づくりが進められています。仙台市の現状や将来の方向性について、学識経験者などの幅広い議論が行われる中、市民の皆さんの声が求められています。

※総合計画：新しいまちづくりの指針となるもので、本市の福祉や教育、環境、経済、都市整備など、あらゆる分野での取り組みの方向性を総合的に取りまとめたもの

総合計画審議会で、熱い議論が続けられています

総合計画審議会は、総合計画の策定に向けて、まちづくりの理念や方向性を審議するもので、学識経験者や市議会議員など三十人の委員から構成されています。この第二回目となる会議が、十一月二十日に行われました。ここでは、今後の仙台市の方向性を考えるに当たり重要となるいくつかのテーマが示され、委員による熱心な議論が展開されました。

これからこの仙台市の姿を考える

に当たっては、人口の減少や少子高齢化の進行、厳しい社会・経済状況など、たくさんの難しい課題があります。さらに、財政の制約が強まる中、すべての要請に応えることが困難な時代になってきています。これに対し、必要などころに資源を集中し、戦略的に都市を運営していく必要があるという考え方が示されました。

共に考え、実現するまちづくりへ

また、審議会では、これからの仙台市をつくるためには行政だけでなく、市民や企業などが共に考え、行動していかなければならないというご意見がありました。そのため、計画を作るに当たっても、さまざまな課題について市

民の皆さんがどのように考えているかをお聴きしながら、議論を深めていくことになりました。

ご意見をお寄せください

左ページに、これからの仙台市を考えていく上で重要な論点になると考えられる項目を示しています。これらの主なテーマの中から関心のあるものをお選びの上（複数選択可能）、皆さんの提言をお寄せください。

いただいたご意見は、総合計画を作る上で、また、今後の市政運営に当たり参考とさせていただきます。

■ご意見の提出方法

16ページにとじ込まれているはがき、または市ホームページ（<http://www.city.sendai.jp/s/sougou/>）の投稿ページをご利用の上、1月22日までに投函または送信してください。

この特集のお問い合わせは
総合計画課 ☎214・8031、
Eメール kiko04020@city.sendai.jp

「100万市民の政策提言」

お聞かせください！あなたが考える未来の仙台

未来の仙台を考えるための主なテーマ

①少子高齢化にどのように対応するのか？



人口減少や少子高齢化が進む中、年齢構成のバランスが大きく変化してきています。少子化の流れを食い止めるためには、また、高齢の方が活躍し続けるためには、どのような取り組みが有効でしょうか？

②安心な暮らしをどのように実現するか？

社会・経済の状況が厳しくなっています。こうした中、すべての市民が生きがいを持ち、安心して暮らすことができるまちづくりが求められています。そのためには、どのような政策が必要でしょうか？



③市民生活の基盤をいかに整えるか？

国や自治体の財政状況がますます厳しさを増す中でも、環境や経済、都市構造、コミュニティーなど、わたしたちの生活に密接にかかわる基盤の整備も大切です。今後、「困難はあっても、生活基盤は強化すべき？」「行政サービスを縮小して負担を分かち合うべき？」それとも…。皆さんはどう考えますか？

④市民主体のまちづくりをどのように進めるか？

仙台市は市民主体のまちづくりをテーマに掲げています。これから、より多くの方がまちづくりにかかわることができるようにするためには、どのようなことが必要でしょうか？



⑤仙台の発展のために何を重視するか？

限られた財源を、より必要性の高い事業に重点的に投資することも必要となっています。その際優先させるのは「社会インフラ（道路・空港・港湾など）？」「未来の仙台を担う人材？」それとも…。皆さんはどう考えますか？



⑥仙台の成長を支える原動力は何か？

仙台市は魅力あふれる都市ですが、今後とも都市の活力を維持し、さらに成長していくためには、持てる力を十分発揮していくことが大切です。世界や日本の中で存在感を示し、個性を輝かせるためには、どのような分野を伸ばしていくべきでしょうか？

⑦仙台は東北のために何をすべきか？

仙台市は、東北の中枢都市として発展してきました。今後、「仙台市が中心となり、東北のけん引役になるべき？」「各都市と連携協力し、東北全体を盛り上げていくべき？」それとも…。皆さんはどう考えますか？



⑧その他

このほかにも、さまざまな論点が考えられます。皆さんのお考えをご自由にお書きください。